

中学校 聖書科シラバス

3年間のねらい、学習目標

同志社香里中学校聖書科では、生徒各自が本校の建学の精神であるキリスト教主義と新島襄の思想の基礎を学び、学校を愛し、キリスト教主義による道徳観を大切にしながら、本校生にふさわしい「良心の全身に充満した丈夫（ますらお：青年）」として成長することを目指す。

そのために、3年間を通して、新島襄の生涯と思想、旧約聖書、新約聖書など、建学の精神における基礎的な教養を身につけるための授業計画となっている。

学年	第1学年	教科書	新島襄への扉編集委員会編『新島襄への扉-真誠の自由を求めて』 日本キリスト教団出版局
		副教材	『聖書 新共同訳』日本聖書協会

学習到達目標

新島襄の生涯と同志社創立の経緯の主な出来事を、同志社人の最低限の知識として身につける。

また、そのような人物と学校の歴史を通して、これからの人生を生きてゆく為の、物の考え方の基礎を育成する。

そしてそれらを、一つの正解を強要するのではなく、生徒個々人の自由な意見を尊重しながら、引き出すことを目標としている。

学習方法

教科書に従って、新島襄の生涯と同志社創立の経緯を説明する講義形式が主体になる。随時、プリントやスライドショー、ビデオ上映などで、視覚的にもよくわかる授業を進める。また、初めてのキリスト教の礼拝を経験する生徒の為に、賛美歌の練習や、主の祈りの暗誦、自分で祈りを作ってみるなどの作業も経験する。

また、同志社社史資料センター主催の「新島襄生誕記念懸賞論文」への応募を全員で行う。その論文作成の過程を経て、資料を探し、調べ、論文にまとめる主体的な勉学の訓練も行う。

主に期末考査によって評価するが、町中にある教会の礼拝を訪問して報告する「教会探検隊」（教会訪問レポート）、自由提出で学校礼拝の感想を書く「礼拝レポート」など、多面的に評価する。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

〈週1時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1学期	1. 導入：学校礼拝入門 2. 創立者の精神を学ぶ①	1. 学校礼拝・礼拝堂への好奇心の育成をはかる。 2. 聖書・賛美歌・祈り・教会といったキリスト教の基礎を理解する。 3. 礼儀と敬意を払う態度を身につける。 1. 新島襄の誕生・幼年時代 2. 少年時代 3. 青年時代 4. 函館時代	礼拝レポート 教会探検隊 「私の祈り」提出 期末考査
2学期	3. 創立者の精神を学ぶ②	5. 洋上生活 6. ボストン上陸 7. フィリップス・アカデミー時代 8. アーモスト大学時代 9. アンダーヴァ神学校時代 10. 宣教師として日本へ	礼拝レポート 教会探検隊 「新島襄生誕記念懸賞論文」への応募 期末考査
3学期	4. 創立者の精神を学ぶ③	11. 帰国・学校設立に向けて 12. 同志社英学校開校 13. 同志社女学校開校 14. 熊本バンド 15. 晩年・永眠	礼拝レポート 教会レポート 期末考査

学年	第2学年	教科書	キリスト教学校教育同盟編『旧約聖書の教え』創元社 富田正樹『キリスト教との出会い 聖書資料集』 日本キリスト教団出版局
		副教材	『聖書 新共同訳』日本聖書協会

学習到達目標

建学の精神であるキリスト教の正典である新旧2つの聖書のうち、旧約聖書の全体的な流れを理解し、基礎的な知識を学ぶことを目標とする。

特にこの旧約聖書は、キリスト教だけではなく、ユダヤ教の正典でもあり、イスラームにも大きな影響を与えている、おそらく世界の人類に最も広範囲な影響を与えた書物である。その書物について学ぶことで、国際的な視野を養い、現在の世界における諸問題を歴史・宗教などの側面から深く理解し、自らの観点からの考え方も養うことをも目指している。

この授業を通して世界中で親しまれている旧約聖書の神話に親しみ、3年生で学ぶ新約聖書とのつながりを通して、キリスト理解を深めることをも望んでいる。

学習方法

主に旧約聖書の物語的な要素の強い、「創世記」「出エジプト記」「ヨシュア記」「士師記」「サムエル記」から題材を取る。聖書を読む一方で、教科書と資料集を用いながら、一つにつながったストーリーとして理解しやすい形で学習を進める。

また、題材が物語中心であるので、具体的にイメージを抱きやすくするために、聖書物語のアニメーション映画を視聴覚室で観たり、紙芝居を観たりする機会を多く設ける。

主に期末考査によって評価するが、同時に中学1年生で行ったのと同様、町中にある教会の礼拝を訪問して報告する「教会探検隊」（教会訪問レポート）、自由提出で学校礼拝の感想を書く「礼拝レポート」などを継続し、多面的に評価する形にしている。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

〈週1時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1学期	1. 導入：旧約聖書の世界 2. 創世記の神話①	1. 講師自身の牧師としてのフィールドを紹介。聖書と現代の世の中との関わりを知らせる。 2. 旧約聖書の世界・時代の概要 1. 「天地創造」 2. 「アダムとエバ」 3. 「カインとアベル」 4. 「ノアの箱船」 5. 「バベルの塔」 6. 「アブラハムとイサクの物語」	礼拝レポート 教会探検隊 期末考査
2学期	3. 創世記の神話② 4. 出エジプト記の神話	7. 「ヤコブ物語」 8. 「ヨセフ物語」 1. 「モーセ物語」 2. 「出エジプト」 3. 「十戒」	礼拝レポート 教会探検隊 期末考査
3学期	5. ヨシュア記から王たちの物語	1. 「ヨシュア物語」 2. 「士師たちの物語」 3. 「サムエルとサウル王の物語」 4. 「ダビデ王とソロモン王の物語」 5. 新約聖書との関係。中学3年生への接続	礼拝レポート 教会レポート 期末考査

学年	第3学年	教科書	キリスト教学校教育同盟編『新約聖書の教え』創元社 富田正樹『キリスト教との出会い 聖書資料集』 日本キリスト教団出版局
		副教材	『聖書 新共同訳』日本聖書協会

学習到達目標

建学の精神であるキリスト教の正典である新旧2つの聖書のうち、新約聖書の全体的な流れを理解し、基礎的な知識を学ぶことを目標とする。

新約聖書は、世界の約3分の1の人口が信徒であるキリスト教固有の正典であり、欧米はもとより、むしろ現代では中南米・アジアで活発に活動しているキリスト教の行動原理になっている書物である。また、キリスト教徒ではなくとも大きな影響を与え続けているイエス・キリストの生涯と言葉を収めているのも、この新約聖書である。そのような書物について学ぶ事で、現在の世界における諸問題を深く理解すると共に、イエスの問いかけを自分なりに受け止め、自らの生き方を考える機会とする。

この授業により、同志社の建学の精神である新島襄とキリスト教についての基礎的な学習が完結する。

学習方法

新約聖書の中でも、歴史的かつ物語的な要素の強い、「福音書」と「使徒言行録」を中心に学ぶ。聖書を読む一方で、教科書と資料集を用いながら、イエスの生涯と死と復活、そしてその後の使徒たちの活動とキリスト教会の始まりが、一つにつながったストーリーとして理解しやすい形で学習を進める。

基本的には教室での講義が中心となるが、随時、必要に応じて、プリント、スライドショー、ビデオなどを活用した視覚的な教材を用いる。

主に期末考査によって評価するが、同時に中学1～2年生で行ったのと同様、町中にある教会の礼拝を訪問して報告する「教会探検隊」(教会訪問レポート)、自由提出で学校礼拝の感想を書く「礼拝レポート」などを継続し、多面的に評価する形にする。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

〈週1時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1学期	1. 導入：新約聖書の世界 2. イエスの宣教活動	1. 旧約聖書と新約聖書のつながり 2. 新約聖書の区分と概要 3. イエスの活動した世界 (新約聖書の背景) 4. 公生涯のはじめに(洗礼者ヨハネとの出会い) 5. 荒れ野の誘惑と弟子の選び	礼拝レポート 教会探検隊 期末考査
2学期	3. イエスの教え 4. イエスを取り巻く人々 5. 十字架と復活	6. イエスの語った有名な言葉 (山上の説教など) 7. イエスの語ったたとえ話 (放蕩息子、善いサマリア人など) 8. イエスの行った奇跡 (自然奇跡/治癒奇跡) 9. イエスの仲間 10. イエスと反対者 11. 論争 12. 最後の晩餐とゲツセマネの祈り 13. 裁判 14. 十字架の死 15. 復活と昇天	礼拝レポート 教会探検隊 期末考査
3学期	6. 使徒たちの宣教活動	16. ペンテコステの出来事 (初代教会の始まり) 17. パウロの伝道活動と彼の書簡 18. 教会の発展 19. 迫害下の教会 20. まとめ (キリスト教史への橋渡し)	礼拝レポート 教会レポート 期末考査